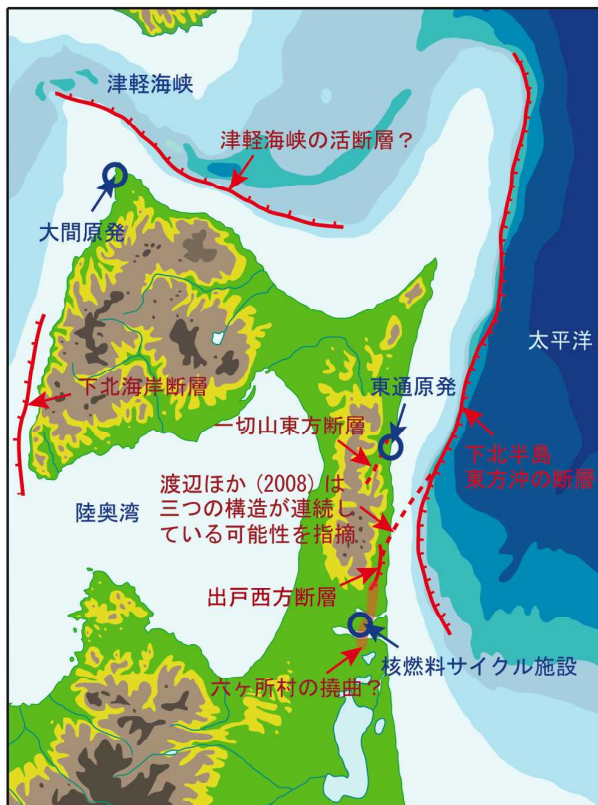


下北半島の地質

- 特に断層と津波記録について -



東日本大震災による福島原発事故を受けて、日本の原子力発電所は、地震や津波、火山の影響、活断層などに対する新しい基準での再審査が行われていますが、再稼働するためには大きなハードルとなっています。青森県内で稼働していた東通原発では、原子力規制委が設置した有識者組織が2013年5月、原発敷地内の主要断層について「活断層の可能性は否定できない」と指摘したことにより、「活断層ではない」とする東北電力の主張と対立しています。

六ヶ所村の核燃サイクル施設や大間原発も含め、下北半島の断層の状況や津波の可能性などについて、今回の講座では地学の専門の根本直樹先生から、下北半島の地質についてお話をさせていただきます。

講師 根本直樹氏
(弘前大学大学院理工学研究科講師)
日時 2015年1月26日(月) 18:00～20:00
場所 津軽保健生協本部2Fホール
参加費 無料

主催 核燃・だまっちゃおられん津軽の会
お問い合わせ 弘前大学教育学部・大坪研究室(0172-39-3473)

* 11月21日(金)、12月26日(金)午後5時半より駅前りんご広場(ヨーカドー隣)で金曜日行動として、核燃反対の街頭宣伝行動を行います。ふるってご参加ください。